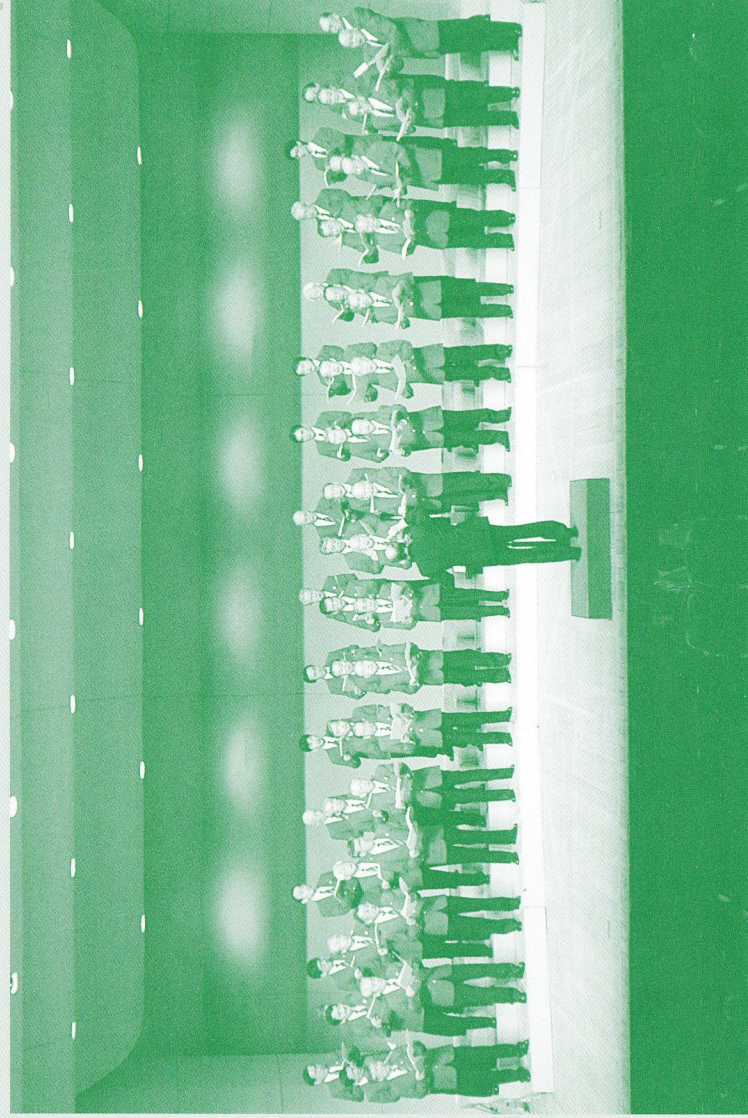




# 小田原男声合唱团

## 第34回定期演奏会



2005.11.12 (土) 午後4時30分 開演  
小田原市民会館大ホール

主催  
後援

小田原男声合唱团

小田原市教育委員会

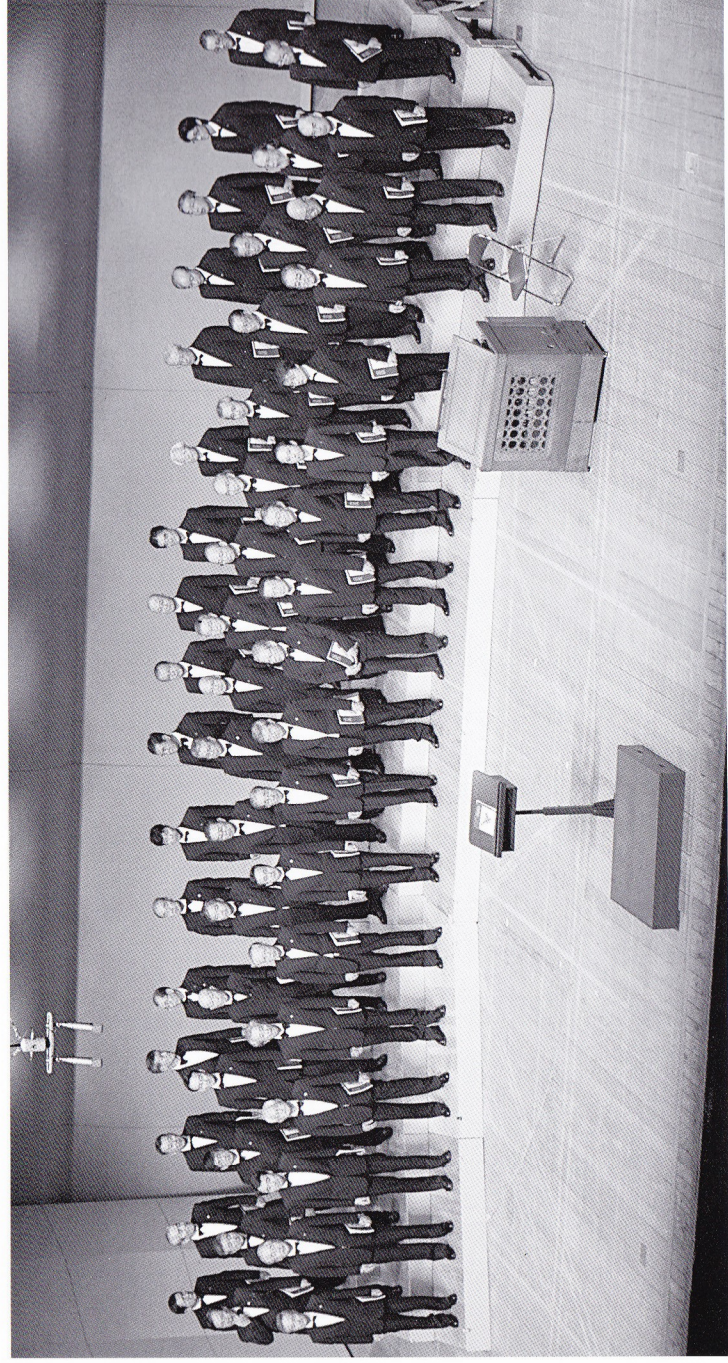
日本男声合唱協会 (JAMCA)

神奈川県男声合唱協会 (KAMCA)

湘南合唱連盟

小田原地区合唱連盟

小田原音楽連盟



## ごあいさつ

### 小田原男声合唱団 団長 一色 義信



本日ここに大勢のお客様をお迎えし、小田原男声合唱団第34回定期演奏会を開催することができますと、ご多用中にもかかわらずご来場頂きました皆様、に、団員一同心よりお礼申し上げます。

さて私達オダダンは、昨年度長らくお世話になりました桑原正人先生の降板を機に、練習体制の見直しを行いました。従来より団内指揮者として指導に当たっておりました松本和夫に加え、本年度より大学合唱団時代以来豊富な指揮者経験を持つ牛丸紘一が団内指揮者に就任いたしました。この1年間、更なる演奏レベルの向上そして自立した合唱団を目指し、団内指揮者2人による指導体制により、毎回の練習時間の延長と月1回のパート練習を実施してまいりました。そしてこれからは、音楽監督兼常任指揮者外山浩爾先生の献身的な指導により結実し、その成果を本日皆様にお聴かせできるものと思っております。

本日の第1ステージは、男声合唱の古典的名曲「月光とピエロ」です。この曲は本年5月21日、横須賀芸術劇場で開催されました神奈川男声合唱協会第6回演奏会において、合同曲として370人の仲間たちと演奏し、満員の聴衆の聴衆の皆様とともにその感動を分かち合いました。本日は団内指揮者松本和夫の指揮により再びその感動を皆様にお届けいたします。

第2ステージは松下耕先生作曲による「CANTATE DOMINO」は1999年、外山浩爾指揮・明治大学グリークラブにより初演されました。初演時とは平均年齢が40歳ほどの違いがありますが、目を閉じれば若々しいオダダンの歌声が聞こえてくる筈です。

第3ステージは「みんなが知っている歌」と銘打って、「見上げてごらん夜の星を」「遠くへ行きたい」など誰もが愛唱してきた名曲を団内指揮者牛丸紘一の指揮により演奏いたします。私達は、より多くの方々から男声合唱ファンになって頂けるよう、これからもこのようなステージを企画して参ります。

そして第4ステージは、多田武彦先生作曲の「白き花鳥図」です。詩人北原白秋の世界とそれを合唱曲により遺憾なく表現した多田先生ならではの音楽をお楽しみください。なお、北原白秋研究家の竹村忠孝先生には詩の解釈をご講義いただき大変お世話になりました。この紙面を借りまして厚くお礼申し上げます。

オダダンは来年初創立35周年を迎えます。この節目の年1月にウイーン・コンツェルトハウスにおいて、初の海外公演を企画しております。また10月に開催されます日本男声合唱協会大分演奏会においては、多田武彦先生への委嘱作品を初演いたします。私達オダダンは更なる合唱レベルの向上を目指し、活発な活動を続けて参ります。これからも私達の活動に、温かいご支援を心よりお願い申し上げます。

# ♪ プログラム ♪

## I 男声合唱組曲 月光とピエロ

堀口大学 作詩 清水 脩 作曲 指揮 松本 和夫

月 夜  
秋のピエロ  
ピエロ  
ピエロの嘆き  
月光とピエロとピエレットの唐草模様

## II CANTATE DOMINO for male chorus

松下 耕 作曲 指揮 外山 浩爾

CANTATE DOMINO  
ADORAMUS TE CHRISSTE  
GLORIA

—— 休憩 ——

## III みんなの知っている歌

指揮 牛丸 紘一  
ピアノ 呉 信樹

見上げてごらん夜の星を	永 六輔 作詩	いずみたく 作曲
雪のふるまちを	内村直也 作詩	中田喜直 作曲
さらば青春	小椋 佳 作詩	小椋 佳 作曲
遠くへ行きたい	永 六輔 作詩	中村八大 作曲
川の流れのように	秋元 康 作詩	見岳 章 作曲

## IV 男声合唱組曲 白き花鳥図

北原白秋 作詩 多田武彦 作曲 指揮 外山 浩爾

黎明  
数珠かけ鳩  
白牡丹  
鮎 鷹 鷄 鷺  
老 白



## みんなの知っている歌

時をこえて、誰でもが口ずさみ愛唱してきた名曲から構成してみました。ジャンルを問わず幅広く、親子一緒、老若男女、どこでも歌え、それでいて美しくムードのある抒情歌といっても過言ではありません。それぞれの時代、皆さんはどのような過ごし方をしていたのでしょうか。

### みあげてごらん夜の星を

昭和37年7月、大阪ブエスステイバル・ホールで初演された、いずみたくと永六輔の処女ミュージカル「みあげてごらん、夜の星を」のテーマソング。五人の夜学生(定時制高校)と一人の美しい女子高生が同じ机で勉強しながら、なぜボクたちは夜勉強するのか、なぜ私は昼間なのかと彼らと彼女は悩んでいくが、その中には明るく甘い青春の歌があった。3年後、東宝で再上演された時、坂本九が主演し、当たり芸の一つとなった。

### 雪のふるまちを

昭和28年2月2日から、男性シャンソン歌手・高英男の歌で放送された『ラジオ歌謡』。元々は前年の連続放送劇『えり子とともに』の中での挿入歌でもあった。雪の降る情景をただ漠然と心に描いて、その中を一人で歩いてゆく自分自身を空想した詩であった。静かに雪の降るまちを歩いている感じが表れ言葉とメロディが融合した傑作と言われている。

### さらば青春

昭和46年2月ポドリールからの小椋佳、初のシングル盤。実質的な意味でのデビュー盤であった。しかし、「しおさいの詩」のB面でもある。当時は無名であり某銀行マン。題名の通り、青春に別れを告げようとする歌ではあるが、彼の作品の中では最もポップな感じの曲調である。

### 遠くへ行きたい

昭和37年5月、NHKテレビの『夢であいましょう』に、ジェリー・藤尾の歌で発表された。シャンソンとジャズをミックスしたようなロマンチックな抒情歌で、作曲家の中村八大はこの曲で第4回日本レコード大賞作曲賞を受賞した。この歌のタイトルと詩の内容が45年頃からデイスカバー・ジャパンの旅行ブームにのり、テレビ番組のテーマ音楽に使われたりして、リバイバルしていくこととなった。

### 川の流れるように

平成元年6月24日午前0時28分、52歳という若さで永眠。歌謡界の女王・ひばりのラストソングである。生前親しかった歌手30人が青山でこの歌をひばりに歌い捧げた。半年前の1月10日アルバム『不死鳥パートII』が発売されたが、ひばりは、この曲をシングルカットして欲しいと願いでいる。秋元康はニューヨークのカフエの片隅でハドソン河を見ながら、この詩をまとめたと言われている。

(文献：長田晁二氏・日本の抒情歌について)

## 男声合唱組曲 白き花鳥図

北原白秋の詩「黎明」「数珠かけ鳩」「白牡丹」「鮎鷹」「老鷄」「白鷺」は、小田原時代の正12年から東京在住の昭和4年に書かれた作品です。

この六つの詩は、『白き花鳥図』篇に収められている18の詩の中から選び曲がついたものです。

白秋は、これらの詩について次のように語っています。「古事記、日本書記、風土記、祝詞等を雲の上より呼び戻す躍動した古代感情のリズムだ。そして、近代の幽玄体を月光と花鳥と古俗との間に密かに薫醸しようとするもの。東洋芸術の神髄はこうした自然の真実相だ。」つまり、自然を神とす古代人と雲をあしらひ、自然から与えられた豊かな生命こそ美とし、雨や風は自然の慈悲であることを感じる「自然観照の詩」ということです。

白秋が語るように、東洋思想は自然を善とし、東洋の幽玄は仏を探っています。そして、日本中世のもの、あのあわれは仏との調和であり、近世のわびさびは自己を仏として見立てています。

各々の詩は、その東洋思想を感じる画(え)を北原白秋が詩にしたもので、「黎明」は印度画を、「数珠かけ鳩」は唐画を、「老鷄」は水墨画をなぞです。「白牡丹」「鮎鷹」「白鷺」は、現実の世界からの美的世界を心象的に詩作しています。

この東洋的な水墨画の境地から滲み出る自然界と一体化の境地、生命の慈悲、そして、北原白秋という詩人の根底にある自然観照の心の叫びを、小田原男声合唱団が、高尚優美に歌い上げます。

白秋の詩心と合唱の心が一つになった美の結晶が、この合唱組曲『白き花鳥図』です。

最後に、合唱組曲『白き花鳥図』は、ほんの瞬間の儂さや美しさを思う心、その無常観からそれらを自分自身の心に響かせ写すことができ自然の美を表現する合唱曲です。小田原男声合唱団の歌声によつて、その自然の美への思いが、鑑賞される皆様の心の奥底に感じ伝わっていくことを願っております。

竹村 忠孝 氏

竹村 忠孝 先生 プロフィール

法政大学文学部卒業。国文学学会会員。法政大学大学院「国際日本学」政治学専攻学術修士。映画「愛と誠」等のブルーボン賞受賞映画監督・山根茂之氏師事。その後、作曲家中田喜直氏から詩心と和を学ぶ。「アジ君の詩」(作詞・竹村)を環境歌曲として中田喜直氏作曲。現在、詩心の視点で「人間・環境・芸術」を掘り下げ、日本の研究を続けている。

## 外山 浩爾 音楽監督 / 常任指揮者



日本楽壇の功労者・外山国彦を父に、指揮者・外山雄三を兄にもつ音楽一門の出身。幼少より本格的な音楽教育を受け、東京芸術大学に入学、柴田陸陸、ウーファー・ペニヒ、リア・フォン・フォン・ヘッサート諸氏に師事し、卒業後直ちに同大学及び附属高校で教鞭をとる。その傍ら藤原歌劇団に参画し、「カルメン」を初めとして多くのオペラに出演した。東京芸術大学、鳴門教育大学に於いて後進の指導に努めた功によって92年には、文部大臣より教育功労表彰を受けた。96年に小田原男声合唱団の音楽監督・常任指揮者に就任、現在に至る。

## 松本 和夫 指揮者



国立音楽大学声楽科卒業後、近隣の中学校音楽教諭として勤務。その間、社会教育活動の一環として女声合唱団『コール・オニオン』（中井町）『コール・こまちよ』（南足柄市）を創立。長年指導にあたる。また、「第九」「メサイア」等の合唱指揮など地域の音楽活動に携わる。平成12年に開催された全国童謡フェスティバル〜白秋 in 小田原・歌唱部門に於いて、小田男の最優秀賞・特別賞受賞に貢献した。中井中学校長、足柄台中学校長の後、足柄市教育研究所、南足柄市青少年センターに勤務。退職後も創立以来の小田男ヴォイス・トレナー&団内指揮者として「いい合唱づくり」に情熱を燃やし続けている。

## 牛丸 紘一 指揮者



高校より合唱指揮をはじめ、大学時代は母校『金沢大学合唱団』の指揮者を務める。1963年以降京都に在住し日本新薬(株)研究所勤務の傍ら京都で最も伝統のある『京都混声合唱団』の指揮者をはじめ、職場、女声合唱団の指揮者として活躍した。この間、京都市交響楽団との共演時にパツハママタイ受難曲、ハイドン四季、ベートーベン第九、モーツァルト、フォーレ、ドボルザーク、ヴェルディのレクイエム等の合唱指揮を努めた。

1995年、小田原へ移住し当団に入団、本年2月より団内指揮者に就任。

## 呉 信樹 ピアノ



桐朋学園大学音楽学部演奏学科ピアノ専攻卒。同オーケストラ研究科修了。ピアニスを兼松雅子、石黒浩子両氏に、指揮を秋山和慶、岡部守弘、紙谷一衛の各氏に師事。82年ルーテル市ヶ谷で「ソロとアンサンブルのタベ」に出演。それ以降ジョイントリサイタル等に数々出演する。慶応義塾高校非常勤講師を経て、アンサンブルを中心にソロ・指導等幅広い演奏活動を行っている。89年より『しなの合唱団』のピアノリストを務め、定期演奏会(第1回~第12回)、訪中コンサート、都民合唱コンクール、その他数多くの共演を重ねている。

# 平成19年3月、「第九」演奏会を開催！

まだ詳細が未定ながら、再来年の3月に、かの『コバケン』こと小林研一郎氏を指揮者に迎えての、ベートーベンの『第九演奏会』の小田原開催が決定したことをお知らせします。

開催決定までの経緯を簡単に説明しましょう。小田原市民会館を考える会』に参加したオダダメンバークラスと、『小田原室内合奏団』(当時の名称・現在は『小田原楽友協会』に変更)の事務局長が軽く一杯やっていた際に、「地域住民の交流のためにも、市民をあげての第九の演奏会なんです。」という話になったのが発端です。

そして2年あけの春、楽友協会事務局長の精力的な各所への働きかけの中、現『小田原音楽連盟』の会長であるバイオリニストの白井英治氏が小林研一郎氏と懇意であり、実現の運びとなったものです。ことに会場費等の諸経費節減の意味もあって小田原市民会館の運営は、小田原音楽連盟と小田原合唱連盟、小田原楽友協会が特別実行委員会を組織

して行うというのが基本構図ですが、『市の主催』は来期議会の議決が必要があるために、その点に關しては未定であるもの、各団体の開催意欲は高く、仮の実行委員やによって、すでに具体的な細部の検討に入っている段階です。

☆市民参加型の『第九演奏会』は各地で知っての通り、市民参加型の『第九演奏会』は各地で行われています。

その成功の鍵は、住民の参加意欲にかかっているといつていいでしょう。いかに練習を楽しみつつ、プロの指揮者や演奏家のものどで優れたハーモニーを創るか。小田原は、わがオダダメンバースタッフの質の高い合唱団が多く存在し、音楽を愛する人も多々います。そこに優れた指揮者を得たことから、必ずや質の高い演奏会ができてきると同時に、詳細が発表された際には、ぜひとも参加してほしいと願っています。

☆『第九演奏会』開催のお知らせを。

( 報告・見尾田博樹 )

## 合唱団の活動 2005 ~ 2006

1, 2	箱根駅伝応援	小田原風祭 鈴廣中継所	松本	箱根駅伝応援歌 箱根八里
2, 1 5	観光まちづくりフォーラム	風祭鈴廣 蔵	松本	箱根八里 西湘の風雅 1・2 駅伝応援歌 からたち
4, 2 3	神奈川男声合唱協会 KAMCA 合同練習(1)	横浜栄公会堂	山田	合同曲「月光とピエロ 横須賀市歌 ふるさと」
5, 7	神奈川男声合唱協会 KAMCA 合同練習(2)	横須賀市青少年会館	山田	合同曲「月光とピエロ 横須賀市歌 ふるさと」
5, 2 1	神奈川男声合唱協会 KAMCA 第6回演奏会	横須賀芸術劇場大劇場	山田 松本	合同曲「月光とピエロ 横須賀市歌 ふるさと」 白き花鳥図 (黎明 数珠かけ鳩 白鷺)
6, 5	第54回湘南合唱祭 第22回湘南合唱祭	秦野市文化会館大ホール	松本	白き花鳥図 (黎明 白鷺)
9, 1 7・1 8	強化練習合唱	いこいの村あしがら		定期演奏会曲 [大井町立相和会館]
1 0, 1 6	第39回市民合唱祭	小田原市民会館大ホール	牛丸	みあげてごらん夜の星を 雪のふるまちを
1 1, 1 2	第34回定期演奏会	小田原市民会館大ホール 外山 松本 牛丸、呉		月光とピエロ CANTATE DOMINO 白き花鳥図 みんなの知っている歌
2 0 0 6, 1, 4~9	ウィーン演奏旅行	ウィーン・コンツェルトハウス 外山		月光とピエロ 日本民謡 他
6, 4	第55回湘南合唱祭	茅ヶ崎市民文化会館		
1 0, 7~9	第17回日本男声合唱協会 JAMCA 大分演奏会	大分県立総合文化センター 大分グランドシアタ	外山	「合同曲 柳川風俗詩1」 「委嘱曲(多田武彦先生)」
1 0, 1 5	第40回市民合唱祭	小田原市民会館大ホール		
1 1, 1 8	第35回定期演奏会	小田原市民会館大ホール		石井敏作曲「石橋の町」 ショーベールト歌曲 宮崎駿アニメ映画音楽集 委嘱曲(多田武彦先生)

作家で小田原団員の  
みおたひろ氏  
見尾田博樹(祐)  
こだわりのお店です。おし  
北海道料理 家庭料理 魚料理  
昼の食事会 小宴会にもどうぞ  
TEL&FAX 0465-22-7668

句の味 くつろぎ処  
『四季彩葉』

17:00~23:00(土曜4:30~)  
おしやれ横町ホテルとざん前  
定休日：火曜日  
第1・3  
月曜日

いっしょに歌いましょう 年齢経験不問  
お待ちしております  
小田原男声合唱団 団員募集

練習日 毎週火曜日 19:00~21:30  
第4土曜日 14:00~17:00  
連絡先・事務局井上楽器 0465-24-0515

# 小田原男声合唱団 MEMBER

## TOP TENOR

石山 誠 (藤沢市)  
 加藤重喜 (秦野市)  
 諏訪部清 (中井町)  
 西山廣木代 (二宮町)  
 福井隆 (二宮町)  
 福嶋修 (小田原市)  
 日置達男 (小田原市)  
 宝子山尚生 (小田原市)  
 松田直隆 (山北町)

## SECOND TENOR

青野幸夫 (秦野市)  
 牛丸紘一 (小田原市)  
 木村敏明 (寒川町)  
 佐藤精孝 (二宮町)  
 杉原由一 (南足柄市)  
 杉本健二 (南足柄市)  
 須原清一 (南足柄市)  
 藤本慎怡 (秦野市)  
 馬場和男 (二宮町)  
 星野正博 (茅ヶ崎市)  
 李中勉 (秦野市)  
 山田允彦 (茅ヶ崎市)

## BARITONE

青野正純 (小田原市)  
 熱田隆純 (南足柄市)  
 伊東清邦 (秦野市)  
 井上忠彦 (小田原市)  
 江川卓男 (鎌倉市)  
 江藤凱夫 (厚木市)  
 岡部仁之助 (秦野市)  
 小澤一 (小田原市)  
 柏木秀茂 (小田原市)  
 菊池義彦 (小田原市)  
 下村興毅 (小田原市)  
 高橋茂樹 (小田原市)  
 西山隆行 (秦野市)  
 松本和夫 (小田原市)  
 見尾博樹 (小田原市)  
 山本信雄 (南足柄市)

## BASS

赤川軍一 (伊原市)  
 一色義信 (秦野市)  
 木村勝男 (小田原市)  
 日下部陽 (平塚市)  
 桑原敏雄 (大井町)  
 古林源次郎 (二宮町)  
 近藤陽一郎 (大磯町)  
 坂口宗夫 (小田原市)  
 島田忠彦 (南足柄市)  
 下澤孝 (小田原市)  
 鈴木壽久 (南足柄市)  
 田島達也 (南足柄市)  
 辻岡伸浩 (開成町)  
 豊田増穂 (小田原市)  
 原誠 (南足柄市)  
 矢島隆司 (二宮町)

音楽監督

常任指揮者

団内指揮者

外山 浩爾

松本 和夫

牛丸 紘一

## 運営スタッフ

團長 一色義信 隆  
 副團長 福井敏雄 隆  
 事務局長 桑原精孝 隆  
 技術部長 福井清邦 喜  
 財政部長 佐藤重喜 二  
 団員部長 伊東健 夫  
 情報部長 加藤幸 夫  
 渉外部長 杉本 夫  
 事業部長 青野 夫

## パートリーダー

T1 日置達男  
 T2 牛丸紘一  
 B1 松本和夫  
 B2 豊田増穂

## 団員副部長

T1 石山 誠  
 T2 山田允彦  
 B1 伊東清邦  
 B2 鈴木壽久

会計監査

田島 達也  
 西山 廣木代

## 第34回定期演奏会スタッフ

委員長 青野幸夫  
 事務局 桑原敏雄  
 計 佐藤精孝  
 会 山田允彦  
 技 鈴木壽久  
 術 福井隆  
 報 桑原敏雄  
 外 杉本健二  
 渉 青野幸夫  
 行 豊田増穂  
 ソ 福井隆  
 ロ 日置達男  
 招 待 状 隆  
 上 げ 達男  
 ア プ レ ン ト 達男

# アポロピアノ

東洋ピアノ製造株式会社  
 スタインウェイ&サンズ 新品 中古  
 ペーセントルファア 新品 中古



**井上楽器**  
 小田原お堀端通り  
 TEL 24-0515



優れた録画性能を実現。富士ファイルムのDVD「きれい録り」シリーズ。



ビデオ用 DVD-R  
 1~8倍速記録対応  
 VDRW120HX5 WT 8X



ビデオ用 DVD-RW  
 4倍速記録対応  
 VDRW120GX5 WT 4X



ビデオ用 DVD-RAM  
 2~5倍速記録対応  
 VDRM120LX5 WT 6X



ビデオ用 DVD+RW  
 1~4倍速記録対応  
 VD+RW120FX5 M 4X



ビデオ用 DVD+R  
 1~4倍速記録対応  
 VD+RW120FX5 M 4X

富士ファイルム DVD「きれい録り」シリーズは、さまざまな記録速度に対応する多様な製品をラインアップ。あらゆる録画ニーズにお応えいたします。

● 製品の仕様、価格、送料などは、個人・法人問わず、ホームページ上で確認できます。  
 ● DVD「きれい録り」シリーズの価格には、私的転売行為が含まれています。転売者は、著作権法で権利保護のため、著作権者に支払われることが定められています。私的転売業者の出品は、個人・法人問わず、ホームページ上で確認できます。 TEL: 03-3560-3107

富士写真ファイルム株式会社 記録メディア事業部 営業部

〒106-8620 東京都港区西麻布2-26-30

富士ファイルムホームページ <http://fujifilm.jp/>

男声合唱組曲 月光とピエロ

堀口大學 作詩  
清水 脩 作曲

I 月 夜

月の光の照る辻に  
ピエロさびしく立ちにけり。

ピエロの姿白ければ  
月の光に濡れにけり。

あたりしみじみ見まわせど  
コロソビイヌの影もなし。

あまりに事のかなしさに  
ピエロは疲ながしけり。

II 秋のピエロ

泣き笑いしてわがピエロ  
秋じゃ! 秋じゃ! と歌うなり。

Oの形の口をして  
秋じゃ! 秋じゃ! と歌うなり。

月のようなる白粉の  
顔が涙を流すなり。

身すぎ世すぎの是非もなく  
おどけたれどもわがピエロ

秋はしみじみ身に滲みて  
眞実なみだを流すなり。

III ピエロ

ピエロの白さ!  
身のつらさ!

ピエロの顔は  
真白け!

白くあかるく  
見ゆれども

ピエロの顔は  
さびしかり!

ピエロは  
月の光なり!

白くあかるく  
見ゆれども

月の光は  
さびしかり!

IV ピエロの嘆き

かなしかからずや身はピエロ、  
月の囀の父無児!  
月はみ空に身はここに、  
身すぎ世すぎの泣き笑い!

V 月光とピエロとピエレットの唐草模様

月の光に照らされて  
ピエロ、ピエレット  
踊りけり、ピエレット。  
ピエロ、ピエレット。

月の光に照らされて  
ピエロ、ピエレット  
歌いけり、ピエレット。  
ピエロ、ピエレット。

踊りけり、ピエレット。  
ピエロ、ピエレット。  
歌いけり、ピエレット。  
ピエロ、ピエレット。

踊りけり、  
歌いけり、  
ピエロ、ピエレット。  
ピエロ、ピエレット。

月の光に照らされて  
ピエロ、ピエレット。  
ピエロ、ピエレット。  
月の光に照らされて。

CANTATE DOMINO

CANTATE DOMINO

Cantate Domino Canticum novum,

Cantate Domino omnibus terra

Cantate Domino et benedicite nomini ejus,

annuntiate de die in diem salutare ejus,

annuntiate inter gentes gloriam ejus,

in omnibus populis mirabilia ejus.

新しい歌を主に向かって歌え。

全地よ、主に向かって歌え。

主に向かって歌い、御名をたたえよ。

日から日へ、御救いの良い知らせを告げよ。

国々に主の栄光を語り告げよ、

諸国の民にその驚くべき御業を。

ADORAMUS TE CHRISTE

Adoramus te Christe, et benedicimus tibi,  
Quia per sanctam crucem tuam redemisti mundum.  
Domine, miserere nobis.

キリストよ、あなたをあげがめ、あなたを讃えます。  
あなたの聖なる十字架によって、世をあなたがなつてくださったからです。  
主よ、私たちをあわれんでください。

GLORIA

Gloria in excelsis Deo.  
Et in terra pax hominibus, bonae voluntatis.  
Laudamus te, Benedicimus te,  
Adoramus te, Glorificamus te,  
Gratias agimus tibi propter magnam gloriam tuam.  
Domine Deus,  
Rex coelestic, Deus Pater omnipotens.  
Domine Fili unigenite Jesu Christe.  
Domine Deus, Agnus Dei, Filius Patris.  
Qui tollis peccata mundi, miserere nobis.  
Qui tollis peccata mundi,  
suscipe deprecationem nostram.  
Qui sedes ad dexteram Patris, miserere nobis.  
Quoniam tu solus Sanctus,  
tu solus Dominus,  
tu solus Altissimus, Jesu Christe.  
Cum Sancto Spiritu, in gloria Dei Patris.  
Amen.

天のいと高きところには神に栄光、  
地には善意の人に平和あれ。  
われら主をほめ、主をたたえ、  
主をおがみ、主をあげがめ、  
主のたいなる栄光のゆえに、主に感謝たて  
まつる。神なる主、  
天の王、全能の父なる神よ。  
主なる御ひとり子、イエズス・キリストよ。  
神なる主、神の子羊、父のみ子よ。  
世の罪を除きたもう主よ、われらをあわれ  
みたまえ。世の罪を除きたもう主よ、  
われらの願いをききいれたまえ。  
父の右に座したもう主よ、われらをあわれ  
みたまえ。主のみ聖なり。  
主のみ王なり。  
主のみいと高し、イエズス・キリストよ。  
聖霊とともに、父なる神の栄光のうちに。  
アーメン。

男声合唱組曲 『白き花鳥図』

北原 白秋 武彦 作詩 作曲  
多田 武彦 作曲

I 黎明

白き鷺 空に闖ひ、  
沛然と雨はしるなり。

時は夏、青しののめ、  
濛濛と雨はしるなり。

早や空し、かの蕙華色、  
二塊の、夢に似る雲。

くつがへせ、地軸はめぐる、  
凄まじき銀と緑に。

白き鷺空に飛び連れ、  
濛濛と雨はしるなり。

II 珠数かけ鳩

珠数かけ鳩はむきむきに、  
落ちし杏をつつくなり。

湿りりまだ乾ぬ土のうへ、  
杏はあかし、そこここに。

珠数かけ鳩の度ましき、  
脚にひろろひぬ。飛び飛びに。

空に杏の葉はにはひ、  
羽根に雫の色涼し。

珠数かけ鳩は行き過ぎて、  
あかき杏につまづきぬ。

III 白牡丹

白牡丹、大き籠に満ち、  
照り層むり内紫、  
豊かなり、芬華の奥、  
とどろきぬ、閑けき春に、

蝶は超ゆ、この現より、  
うつらら舞う、髭長の影、  
晝蘭けぬ。花びらの外、  
敷かじな、雲の驕益を。

白牡丹、宇宙なり。  
また、薫す専なる白、  
この位、ふたつなし、ただ。  
この位、あ、にはひのみ。

IV 鮎鷹

鷹は多磨の千鳥よ、  
梨の雫く切口、  
ちうら飛ぶそな、  
ちうら飛ぶそな。

鮎の子は澄みてさばしり、  
調布の瀬瀬のかみしも、  
砧うち、そな、  
砧うち、そな。

鷹は初夜に眼の冴え、  
夜をひと夜、あさりするそな。  
ちちら、ちちら、  
鮎の若鮎。

水の色、香る泡沫  
眉引のをさなな月夜を  
あ、誰か、  
影にうかがふ。

V 老鷄

さわさわと起つ風の  
音響けば、  
鷄は羽はたきぬ。はたはた、ああ、はたはた、  
白襟の、葉廣襟の  
かがやく陽を目ざして。

鶏冠や、猛猛し  
眼の稜、  
尾羽、翼、はたらぎぬ、はたはた、ああ、はたはた、  
岩根の、白羽、  
吹雪と舞う柱を。

力よ、荒魂  
飛び搏くと、  
勢い蹴るひと空や、はたはた、ああ、はたはた、  
光の、陽のしじまの  
歌たる幅みだすと。

凄まじ、身は重し、  
青の夏を、し、鷄よ、はたはた、ああ、はたはた、  
朱の古くなり、飛び羽一つと  
すべくなし、飛はず落ちぬ。  
いくばくも、飛はず落ちぬ。

VI 白鷺

白鷺は、その一羽、  
睡蓮の花を食み、  
水を食み、  
かうかうとありくなり。

白鷺は貴くり煙るなり、  
身のほそ子を、  
冠毛の拂子、  
へうととして、空にあるなり。

白鷺はまじろがらず、  
日をあさり、おのれ啼くなり、  
幽かな実を、  
連つて立てつなり。

# 白き花鳥図

対訳 竹村忠孝 氏

## I 「黎明」 印度画趣

白鷺は、天地の空間の空で生き抜く。雨が盛んに走っている。

時は青葉が茂る夏の夜明け、(東雲：しののめ)霧や小雨で薄暗中に雨は走っている。

なんと空しい(無常)、あの蓮華色、二つの塊の、それは夢に似た雲。

天と地はひっくり返っているようだ。地軸はまわり、東の空が白み始める。凄まじい天から降る銀の雨と地べたの緑。

白い鷺は空に飛び連れて、霧や小雨で薄暗中に雨は走っている。

\* 森羅万象に命の生まれる瞬間 \* 幽玄体

## II 「珠数かけ鳩」 唐画 白子鳩

珠数かけ鳩は思い思いに、落ちた杏をついている。

湿っていてまだ乾かない土の上、赤い杏は、あちこちに。

珠数かけ鳩はつまましい。脚にある杏を飛び飛びに拾っている。

空には杏の葉は美しく茂っていて、珠数かけ鳩の羽には雫がしたたり趣がある。

珠数かけ鳩は通り過ぎて、赤い杏につまづいている。

\* 唐画、仏教・歴史観

## III 「白牡丹 (はくぼたん)」

白牡丹は大きい籠に盛られ満ち溢れ、春の日差しに照って重なって咲き内紫に見える。花の豊かな輝きの奥には、穏やかな静寂な春の中で、輝きが満ち響き渡る。

蝶々が通り過ぎる現実の世界から、幻想的な空間、夢見心地に舞う蝶々の髭の長い影。真昼、高く昇る。花びらのほかに、ため息をつくような ゆたかな花。

白牡丹の美しさの空間は、宇宙だ。そして、薫り満ちて、ひたすらに漂わす白だ。その位置の確かさは、他の何ものでもない。品位そのものだ。ああ、美しく映えている。

\* 幻想的な空間 \* 宇宙と化する心理 \* 驚きの美的詩的世界

## IV 「鮎鷹」 (別名：コアジサシ)

鮎鷹は、多摩の川瀬などにすむ鳥だ。梨の実の果汁を突いて飲むほどの嘴(くちばし)、ちちら、ちちら、スマートな白い体で飛ぶよ。

全体的に、幽玄体・無常観・わびさび・現実 そのようなテーマの歌

鮎鷹は、澄んだ水に勢いよく泳ぐ。織った木綿を、あちこちの瀬から、川上から川下に、布を打つのに用いる木を打つ、布を打つのに用いる木を打つよ。

鮎鷹は、午後七時から九時頃に眼が冴えて、一晚中、鮎を求めて採るよ。鮎鷹は、ちちら、ちちら、ちちら、若鮎。

水に浮かぶ泡は霧や霧が漂うようにはかなく消える。眉墨で眉を描くようかな月夜の事を。ああ、誰か、その灯に浮かぶ姿を知る。

\* 意外に奥深い気分・情調のある歌体

## V 「老鷄」 江戸中期の画家伊藤若冲の鷄の絵

さわやかに起こる風の音に響いて、

鷄は羽ばたく。羽ばたく、ああ、羽ばたく、白樫の木が広がっている。輝く太陽に向かっていく。

鷄の鶏冠は、勇猛でいかにも強い。殺気立った眼つき、ばらばらになる、鳥の尾と羽、ああ、羽ばたく、羽ばたく、岩のねもとの白羽蟻の吹雪と舞う柱。

荒々し力を示す神霊、飛び払いがると、勢いよく蹴る空いっばいに、羽ばたく、ああ、羽ばたく、日光の陽の静寂の中、日光が輝く端から端まで暴れまわる。

寂しくなるほど、動きが鈍い。

若い頃の夏、いた年代は遠い昔の鷄の姿よ、ギラギラした、ああ、羽ばたく、どうしようもない、すべき手段がない、飛んでも飛ばないで落ちてしまおう。

\* 即物的現実意識 \* 闘争のただけしき 無残さ

## VI 「白鷺」

白鷺がそこにI羽、睡蓮の花を突き、水を飲み、白く輝いて歩いている。

白鷺は美しく近寄り難い。白鷺は細くスマートで、かすんでいる。白鷺の後頭にのびた羽毛は、払子を曳くような白飄々と風に吹かれて、空にいる。

白鷺は、またたくことなく、日光を求めて、鳴いている。ひっそりと音を立てず、脚は一つになっている。蓮の実を超えて立っている。

\* ゆつたりとした動的な時間 \* 光の中の空間 \* 神秘的で奥深くはかりしれない、姿には見えない心象上の景色

